

No	日付	資料	ページ等	コメント内容	コメント対応	回答日	完了
1	6月1日	概要説明資料	61	社内規程に基づいてどのような体制で評価プロセスのチェックを行ったか説明すること。	審査会合における指摘/質問事項の回答-No. 2のとおり。	8月31日	
2	6月1日	概要説明資料	42 70~71	30年目の長期施設管理方針の実績および有効性評価の結果、並びに経年劣化傾向の評価の30年目と40年目の差異について個別の事象の説明に合わせて説明すること。			
3	7月24日	本冊	15	b. 系統レベルの保全活動管理指標に関する記載の「UA時間が2系統で目標値を逸脱している設備があった」について、どのような事象であったか説明すること。予防保全であるのに不適合管理対象になったことについても説明すること	回答資料 高浜3, 4号炉-共通事項-1のとおり。	8月31日	8月31日
4	7月24日	本冊	19	11頁下から10行目で「社長が実施方針を定める」こと、同頁下から7行目で「長期保守管理方針に従い保全を実施することを同方針に反映している」ことが記載されているが、19頁保全活動概要表で長期施設方針と施設管理方針の関係について説明すること。同表にその関係性が示されていない(矢印がない)理由を説明すること。	回答資料 高浜3, 4号炉-共通事項-6のとおり。		
5	7月24日	本冊 補足説明資料 (共通)	23 2	本冊23頁に申請予定日の変更に伴い、調査期間を変更して再度承認を行った旨の記載があるが、補足説明資料2頁のフローに従うと、原子力発電安全委員会の再審議が必要にあると考えるが、当該委員会との関係を説明すること。	回答資料 高浜3, 4号炉-共通事項-2のとおり。	8月31日	8月31日
6	7月24日	本冊	26	PLM実施者と独立した立場のものが品質保証を実施している旨、6/1審査会合において事業者から回答があった。しかし、それが26頁の体制表に記載されていない。体制表に品質保証部門が明確に記載されていないことの妥当性についてを説明すること。	回答資料 高浜3, 4号炉-共通事項-3のとおり。	8月31日	8月31日
7	7月24日	本冊	28	消耗品及び定期取替品について、選定方法や結果を具体的に説明すること。	共通事項補足説明資料 別紙3のとおり。	8月31日	8月31日
8	7月24日	本冊	30	高浜発電所3, 4号炉の高経年化対策の検討では、「高経年化対策の検討で、新たに考慮した主な運転経験はなかった」と記載しているが、最新の知見である、「仏国ペルビル2号炉 制御棒駆動機構のサーマルスリーブの摩耗(2017年12月)」、「大飯発電所3号炉 加圧器スプレイライン配管溶接部における有意な指示(2020年8月)」については、日常管理劣化事象一覧の中に記載がある。最近の先行機評価書ではこれらを最新の運転経験として記載している場合が多い。運転経験について高浜3/4号炉劣化状況評価書への反映のプロセスについて説明すること。 高経年化対策上着目すべき経年劣化事象とはならなくても、最新知見で新たに考慮し検討した運転経験があるなら、新たな運転経験を収集し検討していることを明示するために、主な運転経験の検討事例を記載してはどうか。	回答資料 高浜3, 4号炉-共通事項-4のとおり。		
9	7月24日	本冊	30	検討対象とした文書は1例だけとなっているが、他に検討した情報があるのであれば具体的に説明すること。	回答資料 高浜3, 4号炉-共通事項-5のとおり。		

高浜3・4号炉—共通事項—4

<p>タイトル</p>	<p>高浜発電所3,4号炉の高経年化対策の検討では、「高経年化対策の検討で、新たに考慮した主な運転経験はなかった」と記載しているが、最新の知見である、「仏国ベルビル2号炉 制御棒駆動機構のサーマルスリーブの摩耗(2017年12月)」、「大飯発電所3号炉 加圧器スプレイライン配管溶接部における有意な指示(2020年8月)」については、日常管理劣化事象一覧の中に記載がある。最近の先行機評価書ではこれらを最新の運転経験として記載している場合が多い。運転経験について高浜3/4号炉劣化状況評価書への反映のプロセスについて説明すること。</p> <p>高経年化対策上着目すべき経年劣化事象とはならなくても、最新知見で新たに考慮し検討した運転経験があるなら、新たな運転経験を収集し検討していることを明示するために、主な運転経験の検討事例を記載してはどうか。</p>
<p>説明</p>	<p>劣化状況評価に係る最新知見や運転経験の調査は継続的に実施しており、劣化状況評価書作成時点において反映することとした最新知見や新たな運転経験を劣化状況評価書(総括報告書)に調査期間を明確にした上で記載している。</p> <p>高浜3,4号炉の劣化状況評価では大飯4号炉の高経年化技術評価(最新知見の調査期間:2020年5月~2021年7月)以降の最新知見、運転経験について調査を行い、反映検討を行った上で反映が必要と考えられる最新知見、運転経験について記載している。高浜3,4号炉の最新知見の調査期間は2021年7月~2022年12月とした。</p> <p>「仏国ベルビル2号炉 制御棒駆動機構のサーマルスリーブの摩耗(2017年12月)」は大飯3号炉の30年目の高経年化技術評価において、「大飯発電所3号炉 加圧器スプレイライン配管溶接部における有意な指示(2020年8月)」については大飯4号炉の高経年化技術評価において、それぞれ新たな運転経験として高経年化技術評価に反映済みである。</p> <p>また、高浜3,4号炉の最新知見の調査期間中に抽出されなかったものの、その後の調査で新たな運転経験として抽出し、情報収集・反映検討の継続中のものとして以下事象を本文に追記する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米国HBロビンソン2号炉 炉心槽の損傷(2022年11月) <p style="text-align: right;">以上</p>

高浜3・4号炉—共通事項—5

<p>タイトル</p>	<p>検討対象とした文書は1例だけとなっているが、他に検討した情報があるのであれば具体的に説明すること。</p>
<p>説明</p>	<p>高浜3,4号炉の高経年化対策検討において、最新知見として抽出し劣化状況評価書（高経年化技術評価書）への反映検討を行った文書として以下のものがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 日本電気協会 安全機能を有する電気・機械装置の重要度分類指針（JEAG4612-2021） ② 日本電気協会 安全機能、重大事故等に対処する機能を有する計測制御装置の設計指針（JEAG4611-2021） ③ 日本機械学会 設計・建設規格（JSME S NC1-2020） ④ 日本機械学会 維持規格 2020（JSME S NA1-2020） <p>上記のうち①および②について、主な改訂内容はSA設備への安全重要度のクラス設定を要求するものであるが、劣化状況評価書（高経年化技術評価書）の評価対象が変わるものではないことから反映を行っていない。</p> <p>③および④についてはエンドースされた年度版を用いた評価を行うこととし、劣化状況評価書（高経年化技術評価書）へは反映を行っていない。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

高浜3・4号炉—共通事項—6

<p>タイトル</p>	<p>11頁下から10行目で「社長が実施方針を定める」こと、同頁下から7行目で「長期保守管理方針に従い保全を実施することを同方針に反映している」ことが記載されているが、19頁保全活動概要表で長期施設方針と施設管理方針の関係について説明すること。同表にその関係性が示されていない（矢印がない）理由を説明すること。</p>
<p>説明</p>	<p>○施設管理の実施方針 「原子力発電の安全に係る品質保証規程」において、社長は、「原子力発電所の保守管理規程(JEAC4209-2007)」に基づき、施設管理の実施方針を、品質方針の一部から以下のとおり定めている。</p> <p>『安全を何よりも優先することを基本とし、安全のためには積極的な資源の投入は勿論のこと、国内外のメーカ・協力会社等との連携を図りつつ、原子力の特性を十分認識したリスク低減の取組みを継続するとともに、施設管理を継続的に改善していきます。 なお、運転開始30年以降は、長期施設管理方針に基づく活動を保全計画に反映します。』</p> <p>劣化状況評価書のP.11の下から7行目の「長期施設管理方針に従い保全を実施することを同方針に反映している。」との記載は、上記の施設管理の実施方針に「運転開始30年以降は、長期施設管理方針に基づく活動を保全計画に反映します。」と規定していることを意味している。</p> <p>○「資料2-5 原子力発電所の保全活動の概要」について 劣化状況評価書P.19の「資料2-5 原子力発電所の保全活動の概要」では、施設管理の実施方針に記載されている「運転開始30年以降は、長期施設管理方針に基づく活動を保全計画に反映します。」との規定のとおり、高経年化技術評価の結果策定される長期施設管理方針が保全計画の策定に反映される様を矢印により説明している。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>